



バグダッド 日誌 (10月14日)

○憲法国民投票の結果

MNF-Iの最近の報告資料には、憲法は賛成多数で承認され、引き続き12月の選挙に備えるという、政治プロセスが進展することを確信しているような楽観的な内容が端々に見られる。

本日のBUAにおいても、司令官は、冒頭で「報告の開始に先立ちやるべきことがある。昨日は海軍の誕生日だからお祝いの歌を歌おう。」といきなりHappy birthday to youを歌い始めた。居合わせた米軍人はあわてて一緒に歌っていた。報告中も自信を漲らせて、いつも以上に各幕僚に激を飛ばし、最後にはMNF-Iのエンブレムがたくさん入ったパンツをおもむろに取り出して「これは私が特注で作らせたものだ。」と見せびらかす始末で、終始ご機嫌な様子であった。作戦室内は国民投票の結果はもう既に判明しているという雰囲気であった。

某国のLOに「もう結果が決まっているみたいですね。」と問いかけると「IOの結果だ。別に驚くことではないよ。」という反応であった。

○ホノルルマラソン in バグダッド

知り合いの米海兵隊の大尉から、12月11日に第33回ホノルルマラソンがイラクでサテライト・ランを開催するので参加しませんかという招待メールが届いた。参加費は無料で完走者には公式認定証、Tシャツ、メダル及び貝殻のレイが贈られるそうである。当日は0500スタート、コースはキャンプ・ビクトリーとキャンプ・リバティをまたぐ26.2マイル、ということで参加はあきらめた。参加を希望される方がいましたらハワイではなくバグダッドまで……。

○オーストラリアの女性将校

先日の專案について、話をしていたら、「專案はイラクで、毎日のように起こっていることです。特にアメリカ軍だったら尚更です。怪我人もなかったことだし……また、情報収集をして任務をするだけです。また、この事件の影響で何か動きがあっても、それは政治の話です。」ときっぱり。

更に、「……は心配しないで。」

毅然とした態度に、気持ちを新たにしました。